

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukuseru? TIMES 10

平成22年6月12日発行

発刊元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

創刊号

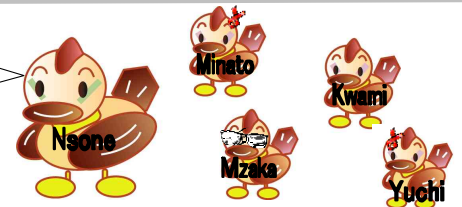
「今が異常…と考える ことからすべてがはじまる 『減の時代』をプラスに考える 明るい未来宣言！」

元博報堂生活総合研究所所長をへて、現在はナレッジファクトリー代表の林光氏。05年度より「すぎなみ大人塾」のアドバイザーを依頼しているが、今年はその林氏自らが開講記念講演で講演し、この社会を明るく生きるための発想について話をした。林氏によれば、現代の日本社会は、4000年前の縄文時代以来、はじめて人口減が起り始まる「異常」な時代。ゆえに、高度経済成長以降の、日本の経済・社会政策を支えてきた「右肩上がり」の発想は通用しないとする。では、「減の時代」を明るく生き抜くキーワードとは？

それは「開発・拡大」ではなく「維持・継承」。新たなモノや施設をつくる...ではなく、既存の資源を新たな発想をもって活かし、未来に継承していくこと。それは、大人塾のコンセプト「自分を振り返る大人の放課後」とつながりそうだ。自分自身の可能性を振り返り、未来につなぐ「何か」をぜひ見つけていきたい。(記事:川上)

これから一年間
よろしく~!

愛すべき大人塾のメインキャラ
カルガモちゃん



大人塾を支える「おとな」たち

みなさんの学び・気づき・活動に適切なアドバイスと講座の進行・運営を行う学習支援者をご紹介します

広石 拓司 (夜)

大阪府出身。三菱UFJリサーチ&コンサルティング、社会起業家育成支援のNPO法人ETICを経て、(株)エンパブリックを設立。幅広い人が社会活動を充実させるための資源発掘、人材育成、仕組みづくり、運営支援などのトータルサポートを行う。慶応義塾大学総合政策学部非常勤講師。

松田 道雄 (昼)

山形県出身。中学校教員、東北芸術工科大学研究員を経て現在は高千穂大学人間科学部教授。「だがしや楽校」の発案者。山形で活動しながら『月刊社会教育』、『新評論』等様々な書籍で執筆・発信中。主著「だがしや楽校のススメ」など。

谷原 博子 (昼)

福岡県出身。FM福岡のアナウンサー、長崎国際テレビのキャスターに加え番組制作のディレクターとしても活躍。現在は杉並区の地域コーディネーターをつとめ、また自然災害・危機管理等のドキュメント取材を中心にフリーアナウンサーとしても活動中。

手塚 佳代子 (夜)

高円寺出身。フリーランスプランナーとして海外放浪・マーケティングを繰り返し、25才で渋谷に制作会社設立。出産後フリーに戻り、現在は個人デザイン事務所+クリエイティブ支援のNPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー代表と、2足のわらじで活躍中。

すぎなみ大人 熟 してる？の発行にあたって

この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。

参加者の反応は？

減の時代、人口が減り、少子化、高齢化の時代をマイナスに捉えていたが、話を聞いてプラスに捉えることができた。

これまでの会社業務では、常に右肩上がりを目指してきたが、新しい発想も必要だと感じた。

「今が異常」ということは、逆に考えるとこれから先はよりよくなる可能性があるということ。明るい未来のために、自分は社会に対して何ができるか、大人塾を通して考えていきたいです。

今日の話をもとに、これからはじまる大人塾の活動の中にしっかりと受け止めたい。自分に、何ができるか楽しみな一年になりそうです。(参加者アンケートより抜粋)